



## 後志魅力展 2 月 13・14 日開催

平成 22 年 2 月 5 日～14 日まで、第 12 回『小樽雪あかりの路』が開催されます。

2/13 しりべしネットシンポジウム(15:00～)

1) 基調講演「北海道・後志らしい産業観光への提言」

講師:

日本観光協会 常務理事 総合研究所 所長 丁野 朗氏

2) パネルディスカッション

日本観光協会 常務理事 総合研究所 所長 丁野 朗氏

札幌国際大学 観光学部 観光学科 准教授

NPO 法人 炭鉱記憶推進事業団 理事長 吉岡 宏高氏

NPO 法人 風土デザイン研究所 理事長 田村 喜子氏

主催 一般社団法人しりべしツーリズムサポート

共催 小樽雪あかりの路実行委員会



2/14 しりべし食の魅力フェア<i(愛)がいっぱい！心も体もとろける汁とスイーツ>(11:00～)

主催:一般社団法人しりべしツーリズムサポート

## 他詳細:予定

### ■交流会 (テーマ:しりべしの食で語ろう)

場所:3番庫 時間:13日(土曜日) 18:00～20:00

後志の食材をベースに懇親会を開催する。(参加費:2000円)

### ■しりべし食の魅力フェア

場所:3番庫 時間:14日(日曜日) 11:00～17:00

会場大きさにより13店舗の募集とさせていただきます

- ◆ 1ないし2ヶ所に滞在し、そこを拠点にして周囲のまちへと足を伸ばしてもらう観光のスタイル。
  - ・ 自転車のハブからスポークが伸びている姿のたとえ
  - ・ 滞在拠点となるまちを「ハブ」、日帰りで足を伸ばす周囲のまちを「サテライト」
- ◆ 小樽とニセコエリアを「ハブ」とし、後志全域（地域外との連携あり）をカバーする
  - ・ 半日や1日を単位
  - ・ 地域資源のセット＝「ユニット」を組み合わせ、観光客が自由に毎日の旅程を設計する。
  - ・ ドライブ中心
- ◆ 観光のパーソナル化の進行に合わせる。
  - ・ 観光客の個別のテーマ（関心、趣味別）に個別に応える
  - ・ 地域型の情報発信をすることが滞在型観光を促す。（脱周遊型団体観光）

	従来の観光	ハブ観光
観光スタイル	周遊型	滞在型
イニシアティブ	発地（消費地）	着地（地元）
ターゲット像	不特定多数（マス）の団体客	より具体的な個人客をイメージ（個人・グループ・家族）
行動スタイル	宿泊地を変えながら広く有名観光地を見て回る	拠点（ハブ）に連泊しながら関心や興味（テーマ）にしたがって訪問先をチョイスする
来た後	別のターゲットを発掘	リピーターやファンを獲得
喩え	底引き網漁業	養殖漁業

各市町村のプロフィール

各市町村hpより



黒松内町

「黒」の文字と松の葉を組み合わせで図案化しました。3本の松の葉は、黒松内村、熱郭村、樽岸村（中ノ川地区）の3村合併を意味します。また、松の葉の外側の太さは健康、内側の細さは心のやさしさ、全体的な丸みは円満平和を表しております。

木：ブナ



ニセコ町

町名は「ニ」、「セ」、「コ」を図案化したもので、「ニ」は雲を「セ」は山を、「コ」は流れを意味し、それぞれ青雲の志、不動の姿、不断の努力を表し、相対的には丸型の平和と結団を、山頂と山裾は飛躍と発展を、内側の白の部分は清らかな心と雪を象徴する。

花：ラベンダー 木：シラカバ 鳥：アカゲラ

《編集後記》今年もよろしくお願いいたします。（一同）

今年も小樽雪あかりの路で後志魅力展を開催することになりました。準備期間が短いことから年明けから開催日まで慌しくしております。事務所通いも天候を見て…マイカー？JR？バス？（I&T）

それにもうひとつ体力の限界(>\_<)雪かきに追われ（泣）女性独りの体力じゃ…（I&T）

家の前は風が吹くと雪がなくなるんだよね～（T）、ここは風が吹いてもしっかり積もります(;O;)と（A）